

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	70.0%	自校A B層の割合	60.0%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
<b>学校全体の取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回のOJTを通して、各教科の指導法の基礎を身に付ける。</li> <li>・単元計画の中で、探究的な活動を必ず設定する。</li> <li>・校内学力テストや東京ベーシックドリル診断テストの結果から、苦手とする単元について復習を取り入れた単元計画を作成する。</li> <li>・校内研究をはじめ、通年お互いの授業を見合い、助言し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週金曜日に15分間、東京ベーシックドリルの前学年の単元ごとの問題（1年生は現学年の問題）に取り組む。</li> <li>・東京ベーシックドリルの診断テストを年4回実施する。</li> <li>・校内学力テストを年1回実施し、前学年までの理解度を把握する。課題のある単元については、授業で重点的に指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎学期はじめに「生活リズム習慣」を設定し、家庭学習を習慣付ける。</li> <li>・「篠四学習スタンダード」に全校で取り組み、授業の流れやきまりを身に付ける。</li> <li>・毎日の宿題を漢字・計算・音読に全学年でそろえる。</li> </ul>
<b>特に支援が必要な児童・生徒への手立て</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の理解度や問題解決のスピードに応じた課題設定を行う。</li> <li>・机間指導、ノート指導、発言等から個々の学習状況をしっかりと把握し、以前よりもできるようになった部分を積極的にほめ、自己肯定感を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後補習教室事業者と連携して、個々の苦手な単元の克服に努める。</li> <li>・ミライシードのドリルパークを活用し、苦手分野の復習を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時、家庭学習（宿題）の提出状況を把握し、家庭と連携を取り合い、提出率が向上するように働きかける。</li> </ul>
<b>成果指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力調査 「5年までに受けた授業は、自分にあった教え方・教材・学習時間となっていたか」 肯定的な回答80%以上</li> <li>・全国学力調査 「自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていたか」 肯定的な回答75%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京ベーシックドリル診断テスト8割達成者 80%以上</li> <li>・校内学力テスト（国・算） 8割達成者 80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力調査 「学校の授業時間以外の勉強時間 1時間以上」の回答割合 75%以上</li> </ul>